

# 公式記録

(社)兵庫県サッカー協会  
兵庫県高体連サッカー部

## 平成22年度兵庫県高等学校サッカー選手権大会

## 決勝【39】

主審 署名	川崎 秋仁
----------	-------

日時	2010年11月7日(日) 13:05 キックオフ				会場	ホームスタジアム神戸					
天候	曇り	風	無風	ピッチ	(天然芝・人工芝・クレー)		状態	良好	試合形式	80分 / 延長 20分 / PK戦有	

審判員	辺見 康裕		会場主任	堀口 泰司		記録	田坂 昌彦 / 岡本 進司 / 菅原 正裕		観衆	4,000人	
主審	川崎 秋仁		副審1	小川 耕司		副審2	梅谷 昇平		第4の審判員	吉本 忠義	

チーム名	滝川第二高校					延長kick off	1	0	前半	1	0	後半	0	0	延前	0	0	延後	0	0	PK戦	7	6
選手番号	12	8	16	5	24	9	3	15	10	選手番号	11	7	19	6	4	16	13	14	1				
	○	○	○	○	×	○	○	○	×	○	×	○	○	×	×	○	○	○	×				

交代		シュート				選手名 (学年)		番号	位置	位置	番号	選手名 (学年)		シュート				交代	
No.	OUT時間	延後	延前	後半	前半								前半	後半	延前	延後	OUT時間	No.	
	分					中尾 優輝矢	3年12	GK	GK	1	田島 昇太	3年							
68	分					島 秀行	3年2	DF	DF	2	水野 有	3年							
75	分			1		土師 直大	3年4	DF	DF	4	吉川 拓穂	3年							
	分					高原 真峰	3年3	DF	DF	14	茨木 凌	2年							
	分			1		濱田 量也	3年14	DF	DF	16	村上 群真	2年							
73	分					白岩 涼	3年13	MF	MF	6	松本 彰	3年	1						
	分					香川 勇気	3年15	MF	MF	19	野尻 志遠	2年							
	分			1	1	谷口 智紀	3年7	MF	MF	9	桜本 陸	3年		1					
	分					本城 信晴	3年9	MF	MF	15	富士野 恭祐	2年						69分	
93	分	1				浜口 孝太	3年11	FW	MF	7	奥村 慶之	3年		1					
	分	1	3	2	2	樋口 寛規	3年10	FW	FW	11	福本 侑大	3年	1	1					
	分					下出 晃輔	3年1	GK	GK	12	上野山 裕己	3年							
	分					佐々木 慎太郎	1年18	DF	DF	5	濱 晃大	3年							
2	分					平田 雄紀	2年8	DF	DF	3	小西 祐樹	2年							
	分					河田 宏平	3年20	DF	MF	20	本多 裕貴	3年							
	分					杉元 義紀	3年25	MF	MF	17	前田 恵汰	2年							
13	分					患 龍太郎	2年16	MF	DF	24	竹中 偉吹	1年							
	分					酒匂 竜馬	3年6	MF	MF	8	小池 実喜彦	3年							
11	分					筒井 亮磨	2年24	MF	FW	13	岡田 貴信	3年						15分	
4	分					亀岡 淳平	2年5	DF	FW	10	磯岡 優斗	2年							

時間	警・退	No.	氏名	事由	合計	延後	延前	後半	前半	チーム合計	前半	後半	延前	延後	合計	時間	警・退	No.	氏名	事由
52分	警告	7	谷口 智紀	繰返	13	2	3	5	3	シュート	2	3	0	0	5	20分	警告	4	吉川 拓穂	ラフ
63分	警告	3	高原 真峰	ラフ	7	0	0	5	2	GK	4	5	2	0	11	分				
80+2分	警告	14	濱田 量也	ラフ	5	0	0	3	2	CK	1	0	0	0	1	分				
99分	警告	7	谷口 智紀	ラフ	21	1	2	9	9	直接FK	8	6	1	3	18	分				
99分	退場	7	谷口 智紀	警2	3	1	0	1	1	間接FK	3	7	0	0	10	分				
分					0	0	0	0	0	PK	0	0	0	0	0	分				

[警告事由] 反ス・ラフ・異議・繰返・遅延・距離・無入・無去 [退場事由] 不正・乱暴・つば・阻(手)・阻(他)・侮辱・警2

得点経過	時間	チーム	No.	得点者	スコア	[得点経過] 略号例: ドリブル~・ゴロのパス→・浮き球n・混戦×・ヘディングH・シュートS												
	40+2分	報徳	6	松本	0-1	左	CK	⑨	n	中央	⑦	H	n	⑥	S			
	45分	滝川第二	4	土師	1-1	左	CK	⑭	n	中央	④	HS						
	分				-													
	分				-													
	分				-													
	分				-													
	分				-													
	分				-													

戦評者 所属【伊丹北・須磨友が丘】 氏名【吉田・尾崎】

両チーム4-4-2のシステムでゲームが始まる。滝川第二はFW⑩樋口⑪浜口を中心に両サイドの⑬白岩⑯本城ボランチの⑦谷口が攻撃を仕掛ける。本大会で初めてオール3年生で固め、2年ぶりの優勝を狙う。一方、36年ぶりに決勝に進出した報徳はキャプテン⑦奥村⑪福本が攻撃を引っ張り、勝利を向う。決勝戦の固さから前半は両チームともに足元へのパスが多く、運動量に欠け決定的な場面が作り出せない。前半ロスタイムに報徳、後半立ち上がりには滝川第二が互いにリスタートから得点し、徐々に動き出しも速くなり、活発なゲーム展開が期待されたが、滝川第二は中盤以降の押し上げが遅く決定機を作り出せない。一方報徳は左サイドのスペースへ⑦奥村を走らせチャンスを作り、⑨桜本⑪福本のシュートがバーに当たるなど惜しいチャンスがあったが、得点には至らなかった。延長前半、滝川第二は両サイドからのクロスボールを⑩樋口がヘディングでゴールを狙うが得点できない。延長後半、滝川第二は⑦谷口が2枚目の警告を受け退場、⑭濱田が負傷による退場で2名少ない状態になるが報徳の攻撃をしどろ、決着はPK戦に委ねられた。滝川第二は全国総体準優勝のプレッシャーから最後まで固さがとれず、苦しいゲーム展開となった。報徳は澆刺とプレーし、両チーム共に延長まで死闘を尽くし賞讃に値するゲームを展開した。

[備考]